

No.36

協会だより

平成 28 年 3 月号

一般社団法人高知県木材協会

木のおもちゃの貸出しを始めました

高知県内の保育園・幼稚園及び市町村(317ヶ所)に木のおもちゃ貸出事業をご案内したところ、早速申込みがありました。

2月から高知市内の3ヶ所の保育園へ貸出しの実績があり、その後も次々と予約が入っています。



貸出要綱及び貸出品アイテムは木材協会のホームページにあります。



林野庁予算の情報(最新)28年度予算

印刷物をスキャンしたため少し画質が悪いです。

新たな木材需要創出総合プロジェクト [平成28年度予算概算決定額 1,215(1,447)百万円] (平成27年度補正予算額 1,800百万円)

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現するためには、森林資源のフル活用に向け、A材、B材、C・D材といった幅広い用途において、新たな木材の需要を創出する必要がある。

林業の成長産業化を実現するため、木材利用が低位な都市部の建築物等における木質化を推進するための製品・技術の開発・普及や、木造建築物・木製品・木質バイオマスなど様々な分野での地域材利用の拡大により、新たな木材需要を創出。

都市の木質化等に向けた新たな製品・技術の開発・普及 [365(486)百万円]

○木材需要のフロンティアとなる都市部の中高層建築・低層非住宅建築等をターゲットとした「都市の木質化」等を推進。

CLT等中高層建築物等の木質化に係る技術の開発・普及



CLTの施工方法の確立及びコストダウンに向けたCLTを活用した先駆的建築の支援

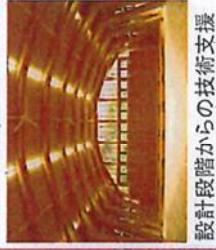


木材を利用する建築物に携わる設計者等を育成する取組の支援や木材の健康効果・環境貢献等の評価・普及

地域材利用促進 [850(960)百万円]

○様々な分野における木材需要の拡大に向けた技術開発、調査や普及啓発等を推進し、豊富な森林資源をフル活用。

公共建築物等の木造化等の促進



設備段階からの技術支援や木造と地構造の設計を行った面積の比較による木造化への誘導

木材を利用した建築物の建設における設計者の育成等の促進



木材を利用する建築物に携わる設計者等を育成する取組の支援や木材の健康効果・環境貢献等の評価・普及

地域材利用促進 [850(960)百万円]

○様々な分野における木材需要の拡大に向けた技術開発、調査や普及啓発等を推進し、豊富な森林資源をフル活用。

工務店等と林業・木材加工業の連携による住宅つくり等への支援



地域材のサプライチェーンの木づかいや森林づくりの構築や意匠性の高い木材の普及用などの付加価値向上につながる取組等を支援

海外での地域材利用



違法伐採対策の推進
違法伐採対策の体制整備に向け、関連情報の収集・蓄積を図るほか、合法木材の普及を促進

平成32年の国産材供給・利用量3,900万m³を達成し、林業の成長産業化を実現

背景

実施内容

林野庁における金融施策一覧表

印刷物をスキャンしたため少し画質が悪いです。

林野庁における金融施策(林業金融対策)

年度	事業名	概算 決定期額 (千円)	目的	貸付実行者	対象事業	貸付対象者	支援手法	支援要件	特 微	(セールスポイント)
28 当初	林業施設整備事業(拡充)	454,458	林業経営規模の拡大・維持や木材の加工・流通体制の改善を行なう林業者等の金利負担の軽減	日本政策金融公庫 (日本政策金融公庫から借入れる際に、事業実施主体から利子助成を行う)	森林取得、林産物加工・流通施設の導入	林業者・林業を併せ営む木材産業者	利子助成(最大2%)	林業経営改善(は合理化計画の認定)	林業経営改善、合理化に取り組む林業者等の金利負担の軽減	林業経営改善、合理化に取り組む林業者等の金利負担の軽減
28 当初	森林整備活性化資金の活用による森林の整備(維持)	19,829	施業規模を集積させた林業者等の金利負担の軽減	日本政策金融公庫 (農林漁業信用基金からの寄託)	森林整備(造林、利用開伐)	林業者	有利子の公庫資金と無利子資金の併せ貸し	林業経営改善計画の認定に加え、森林整備合理化計画又は森林経営計画の認定	施業規模を集積させた林業者による森林整備	施業規模を集積させた林業者等の金利負担の軽減
28 当初	林業・木材産業改善資金(継続)	—	中小零細の木材産業者等の経営改善	都道府県	経営改善に資する木材加工施設等の導入・改良	林業者・木材産業者	資金の無利子貸付	改善計画の認定	事業者の創意工夫を評価かねて加工施設等の導入・改良	経営改善のための新たに取扱いの無利子貸付
28 当初	木材加工設備導入(継続)	3,769	木材製品の高付加価値化や経営の多角化	民間金融機関	木材加工施設の導入や事業	木材産業者	利子相当額の1/2又は2/3※補助率2/3は木質バイオマス利用の乾燥施設等の導入の場合	施設導入計画の審査	外材も含めた加工施設の導入	木材製品の高付加価値化を図る木材産業者の金利負担の軽減
28 当初	林業信用保証事業(継続)	256,000	林業者・木材産業者等の民間金融機関から借入れる際の資金調達の円滑化	民間金融機関	経営改善に資する森林整備に必要な資金等及び木材加工施設等の導入等	林業者・木材産業者等	農林漁業信用基金への出資	農林漁業信用基金へ出資	林業者・木材産業者等が事業に必要な事業資金(設備資金・運転資金)を民間金融機関から借り入れる際の債務保証	事業経営改善等に資する際の債務保証による資金を借り入れる際の債務保証
28 当初	林業信用保証事業(うち木材需要付金のうち林業信用保証事業(継続))	52,800	林業・木材産業者等の民間金融機関(農林漁業信用基金を通じた貸付の負担軽減)	民間金融機関(農林漁業信用基金を通じた貸付の負担軽減)	木材の生産及び流通の合理化、効率的な林業経営に資する事業	林業者・木材産業者等	低利運転資金の貸付	合理化計画又は林業経営改善計画の認定	林業者・木材産業者等への運転資金の貸付	素材生産及び造林等の費用、木材加工に必要な運転資金の貸付

林野庁予算の情報(最新)27年度補正

印刷物をスキャンしたため少し画質が悪いです。

地域材利用拡大緊急対策事業

【平成27年度補正予算額:1,800百万円】

背景

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、山村に広がる豊富な森林資源を循環利用し、地域材の需要拡大を図り、林業の成長産業化を実現することが必要。

実施内容

地域材の良さを発信し需要を増大させるとともに、地域材を利用する木材関係者等が連携して行う取組等を総合的に支援。

(1) 地域材利用の木材関係者等への支援対策

○住宅等における地域材の需要拡大を図るため、各地域又は全国の木材関係団体が工務店・製材業者・素材生産業者等の関係者による協議会を設置し、以下の取組等を支援。

展示会、消費者向けセミナーの開催等の訴求活動

地域材を利用した住宅・木材製品の設計者等への各種研修会・技術指導等の取組



QRコード等での在庫管理による流通の合理化
住宅の設計者等への研修会



木造化のための情報発信
木材流通の合理化



部材の標準化の検討
中大規模施設等の木造化に向けた課題の整理及び技術的検討を行う取組



(2) 木材の新規用途の導入促進事業

○CLT(直交集成板)建築物の実証、地域の特性に応じた木質部材や工法の開発・普及等の取組を支援。



施工性のデータ収集等を目的とした
CLT建築物の実証



木質部材や工法の開発・普及

(3) 広葉樹材の活用によるしいたけ生産支援対策

○広葉樹材の活用による原木しいたけの生産性や品質向上のために必要な生産資材の導入を支援。



広葉樹の活用による原木しいたけ生産



国土交通省 地域型住宅グリーン化事業

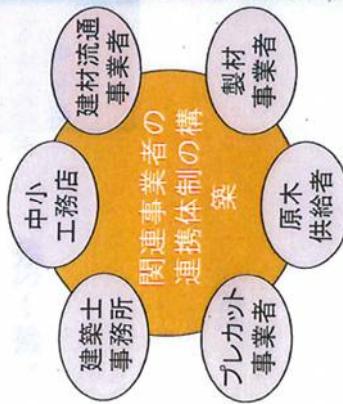
印刷物をスキャンしたため少し画質が悪いです。

平成27年度予算	110億円
平成27年度補正予算	16.8億円
平成28年度予算案	110億円

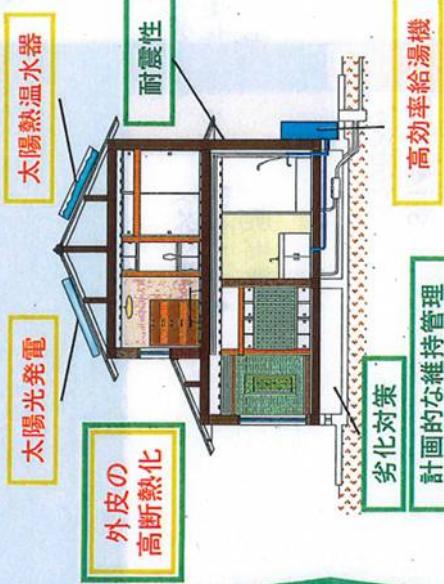
地域型住宅グリーン化事業

地域における木造住宅の生産体制を強化し、環境負荷の低減を図るために、資材供給、設計、施工などの連携体制により、省エネルギー性能や耐久性等に優れた木造住宅・建築物の整備に対して支援する。

グループの構築



補助対象(住宅)のイメージ



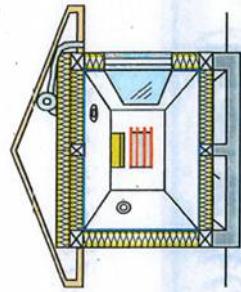
- 劣化対策
- 計画的な維持管理

共通ルールの設定

- ・地域型住宅・建築物の整備
- ・地域型住宅の規格・仕様
- ・資材の供給・加工・利用
- ・積算、施工方法
- ・維持管理方法
- ・その他、グループの取組

地域材加算
三世代同居加算
・キッズ・浴室・トイレ又は玄関のうちいずれか2つ以上を住宅内に複数箇所設置する場合、30万円/戸を限度に補助を加算

補助対象(建築物)のイメージ

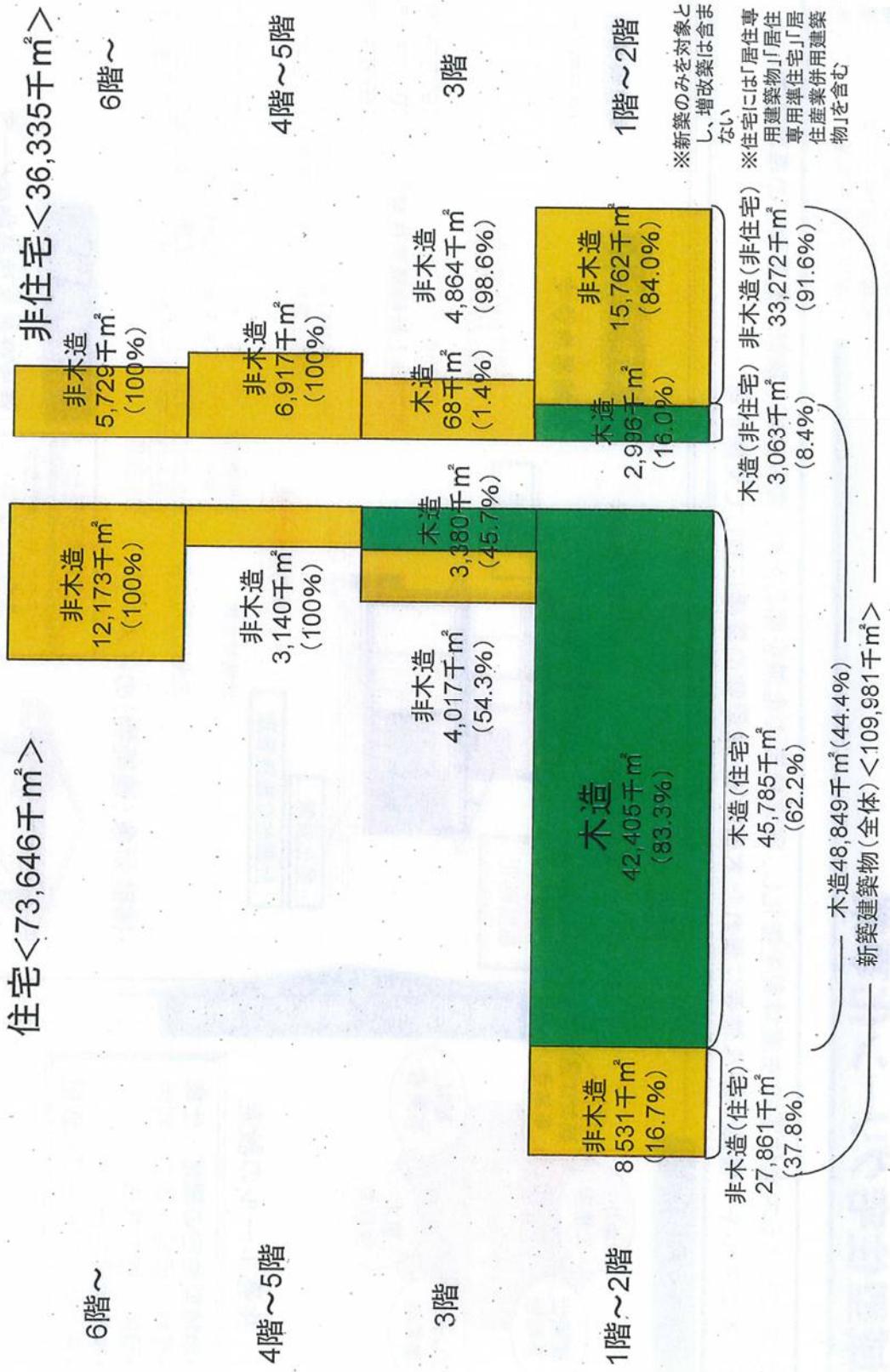


※右の青字下線部はH27年度補正から、赤字下線部はH28年度から制度拡充の箇所

新築建築物の木造化の資料

印刷物をスキャンしたため少し画質が悪いです。

新築建築物の木造化の状況（全国）（H26建築着工統計調査）



高知県の非住宅建築物木造化

印刷物をスキャンしたため少し画質が悪いです。

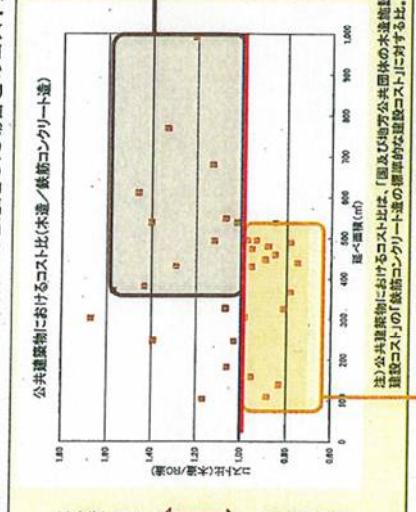
非住宅建築物木造化促進事業費補助金

背景

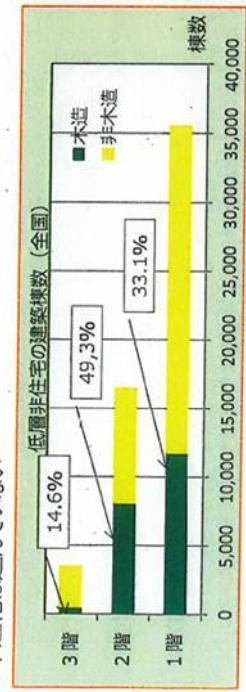
- 少子高齢化による住宅着工数の減少（住宅分野における木材需要が減少）
- 県内市場は小さく、外商活動による需要確保が必要（後半は市場確保が困難）
- 豊富な森林資源を活かしていくためには、全国的な木材の需要拡大が必要

現状

木造施設を鉄筋コンクリート造で建設したと想定した場合とのコスト比較



■木造化は進んでいない
RCに比べコストは比較的安い



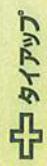
- 木造化の利点などの理解が進んでいない
- 減価償却期間が短く、資金運用しやすい場合がある
- 固定資産税等が有利
- 建設時のCO₂排出量が少なく、環境に貢献

木材利用推進課
予算額25,300千円

全国への販売展開

- ターゲット
福祉・医療関係等の施主

- 提案・営業
○県内事業者
・木材関係者 など



- 全国の関連事業者
・中大規模木造 ブレカット
技術協会
・全国建築士事務所協会
・日本C.L.T協会
・土佐木バートナー企業
などのメンバーアー

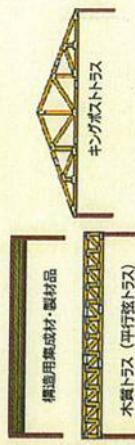
- 普及PR
C.L.T首長連合などを活用
した普及活動

- 非住宅建築における
木造化の推進

- 中・高層木構造施設については、林野厅も製品の開発等で
国と連携して取り組む

- リーズナブルな新商品開発の推進

- 長スパン等に対応可能で、R.C工法等に対抗
できる低コスト化
①一般に流通している木材と
接合金具の組み合わせによる製品化



- ② C.L.Tヤツーバイフォーなど面材の活用

- ③ 上記①②等を組み合わせた構造の標準化

- 設計士の人才培养

- ①技術研修会の開催
②モデル建築物等を活用した技術・ノウハウの
取得と蓄積
③設計士の掘り起こし

- 施主へのPR
①事例集等の活用
②現地見学会の開催

- 普及ツールの作成

- ①事例集の作成
・県内外の事例を収集
・参考価格の表示
②標準仕様書の作成
・規模やバージョン別に整理
・建築コスト

施主は
木造にするイメージを持つている

第 51 回全国木材産業振興大会富山大会のお知らせ

富山県木材組合連合会からのお知らせ

平成 29 年春第 68 回全国植樹祭が富山県魚津市において開催されることから 1 年前大会として全国に富山県を発信する。

【概要】

日時： 平成 28 年 11 月 10 日(木)13 時 30 分から

場所： 富山県民会館大ホール及び富山第 1 ホテル

テーマ： (仮)木材の復権—ウッドファースト社会の実現に向けて—in 富山

記念講演： 松竹映画監督 本木 克英 氏(富山県出身)

釣りバカ日誌シリーズNo.11～13、おかえり、はやぶさ、
ゲゲゲの鬼太郎、犬と私の 10 の約束、超高速!参勤交代 ets
の作品を手掛ける。

記念懇親会：富山ならではの料理、富山でしか食べられない御馳走を多数ご用意した楽しい懇親会

第 51 回全国木材産業振興大会実行委員会(全木連北陸支部)



(写真は平成 27 年 10 月 29 日に三重県で開催された第 50 回全国木材振興大会の様子)

備考：あと 4 年程したら、この役が高知県に回ってきそうな状況です。

化学物質を取扱う事業場の皆さんへ

労働災害を防止するため リスクアセスメントを実施しましょう

労働安全衛生法が改正されました（平成28年6月1日施行）

一定の危険有害性のある化学物質（640物質）について

1. 事業場におけるリスクアセスメントが義務づけられました。
2. 譲渡提供時に容器などへのラベル表示が義務づけられました。

<リスクアセスメントとは>

化学物質やその製剤の持つ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への危険または健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスクの低減対策を検討することをいいます。

<対象となる事業場は>

業種、事業場規模にかかわらず、対象となる化学物質の製造・取扱いを行うすべての事業場が対象となります。

製造業、建設業だけでなく、清掃業、卸売・小売業、飲食店、医療・福祉業など、さまざまな業種で化学物質を含む製品が使われており、労働災害のリスクがあります。

<リスクアセスメントの実施義務の対象物質>

事業場で扱っている製品に、対象物質が含まれているかどうか確認しましょう。対象は安全データシート（SDS）の交付義務の対象である**640物質**です。

640物質は以下のサイトで公開しています。

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx

職場のあんぜんサイト SDS

検索

対象物質に当たらない場合でも、リスクアセスメントを行うよう努めましょう。

あなたの職場でも化学物質を使っていませんか？
リスクアセスメントのやり方を見ていきましょう



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

第30回高知県地場産業大賞 表彰式

平成28年2月26日(金) 城西館に於いて、平成27年度高知県地場産業大賞表彰式が行われました。木材関係では、四万十町森林組合の幼児向け家具「MORITO シリーズ」が選出され表彰されました。おめでとうございます。



土佐材流通促進協議会

1. 産地商談会事業（新しい土佐材活用セミナー）

平成28年2月22日(月)新ロイヤル四万十ホテル 17:00～18:00

翌日の第6回優良土佐材見本市(西部木材センター)の為に全国から集まったお客様を交えて土佐材セミナーを開催しました。



講師：建築舎K I T 喜多 泰之氏

在来軸組工法にC L T 及びS W P を組み合わせた新たな建築スタイル（窪津漁協の事例）を県内の建築士から紹介してもらいました。県外招待客29名を含む58名が出席しました。このあと、同ホテルにおいて懇親会も開催されました。

2. 展示会事業（第6回優良土佐材見本市【高知県内3市場合同市】）

平成28年2月23日(火)協同組合西部木材センター 9:00～14:00



(協)高知木材センター・(協)高幡木材センター・(協)西部木材センターの3市場共催による合同市。今年は西部木材センターでの開催となり、遠方にもかかわらず県外から多くの買い方で賑わい盛大な市となりました。市況が低迷しており、販売価格は厳しいですが出材量の約8～9割の売れ行きでした。

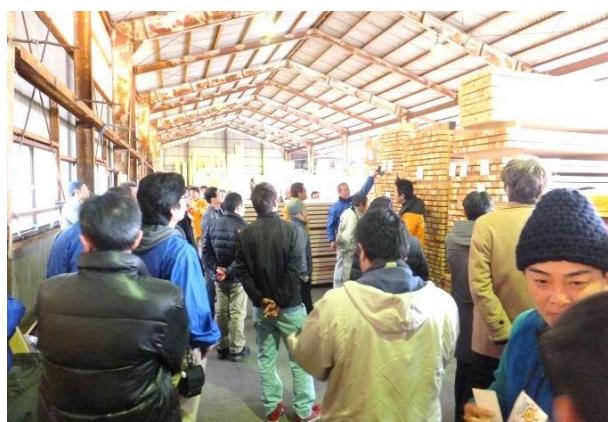


総出荷材積：約 750 m³

販売材積：639. 5098 m³

販売金額：47,381 (千円)

来客数：約 100 人 (買い方約 70 人)



3. 消費地商談会事業（京都府建築工業協同組合 2月理事会）

平成 28 年 2 月 5 日(金) 京都市上京区葭屋町

高知県大阪事務所からの紹介により、京都府建築工業協同組合で、土佐材の説明をする機会を得ました。京都の工務店(出席者 23 人)に土佐材の品質の良さをアピールし、土佐材パートナーへの登録も勧めました。



4. 消費地商談会事業（「土佐の自然素材で家づくり」広島商談会）

平成 28 年 3 月 10 日(木) ワークピア広島

土佐材流通促進協議会の発足以来、初めてとなる広島での商談会開催でした。

自然素材にこだわりのある広島の工務店 7 社が出席し、数件の見積り依頼も受けました。



高知県からの参加企業

- ① (協)ドライウッド土佐会
- ② 馬路林材加工(協)
- ③ 植原町森林組合
- ④ 高知プレカット
- ⑤ (株)吾川森林
- ⑥ (協)高知木材センター
- ⑦ 田中石灰工業(株)
- ⑧ (株)クロスロード



5. 展示会事業（第39回ナイスふれあいフェア【土佐材展示即売コーナー】）

平成28年3月11日(木)・12日(金) 岡山扇木材

中国地方では最大規模となる展示会のナイスフェアに土佐材コーナーを設置し、約70m³の土佐材を出材しました。来客数は2日で1,100人と多く、天気も良いなか高知家の旗もひるがえりました。売上金額は約200万円。



木材の輸出振興をサポート

平成28年3月7日(月)・8日(火)

JETROが韓国住宅メーカー3社を高知に招聘し、木材の輸出商談会を開催しました。木材協会も県と連携して各地を案内するなど、商談のサポートを行いました。



訪問した韓国企業

- ① コエコ社
- ② ドゾン社
- ③ ネジップチョロム社

案内した高知県企業

- ① 池川木材工業(有)
- ② 丸和林材(協)
- ③ (株)吾川森林

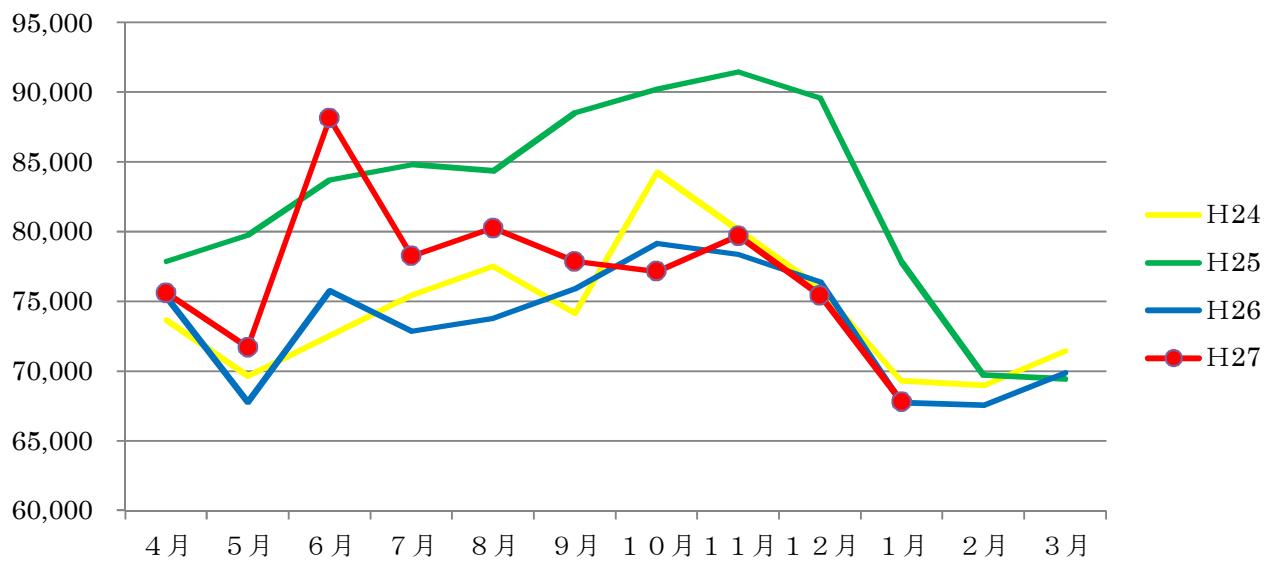
高知県林業環境振興部を表敬訪問



住宅着工情報

資料（1）全国の月別新設住宅着工(24年～28年1月まで)

全国の月別住宅着工 (H24～27)



平成28年1月の全国の新設住宅着工数は6万7,815戸で前年同月より0.2%増加した。

平成28年1月～12月までの年計は90万9,299戸。平成27年計は90万であり前年比1.9%上回った。

持ち家（注文住宅）は、前年同月比では0.1%減の2万264戸となった。

市場をけん引していた貸家は前年同月比5.3%増の2万8,288戸と好調でプラス推移が続いている。分譲住宅は前年同月比-5.7%減の1万8,903戸で一戸建てが同8.9%増の1万359戸、マンションが前年同-19.2%減の8,383戸となった。分譲マンションは基礎杭の不正問題など消費者の心理にマイナス影響を与える事件もあり、今後弱基調が続く可能性がある。

エリア別では近畿圏が好調で前年同月比10.2%増だった。首都圏・中部圏は前年同月比を下回り、特に首都圏の持ち家が前年同月比4.4%減と弱さが目立った。



消費税10%が掛かるのは？

住宅については、原則引き渡し日を基準に税率が決定しますが、税率引き上げの半年前の前日（平成28年9月30日）までに契約したものについては、仮に引き渡しが税率引き上げ（平成29年4月1日）以後になっても引き上げ前の税率（8%）が適用されます。

平成28年9月30日

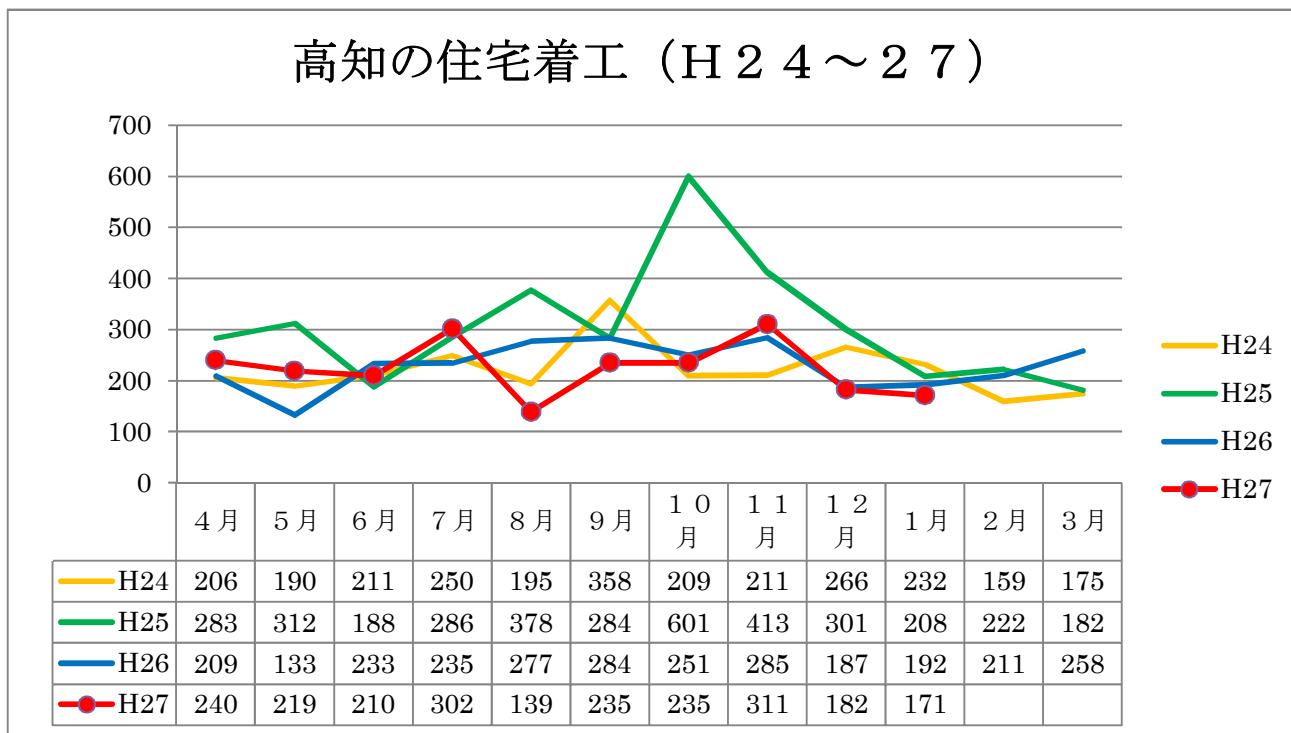
平成29年4月1日

請負契約締結



ご注意：ただし、ここにきて消費税先送りの話も出始めました。

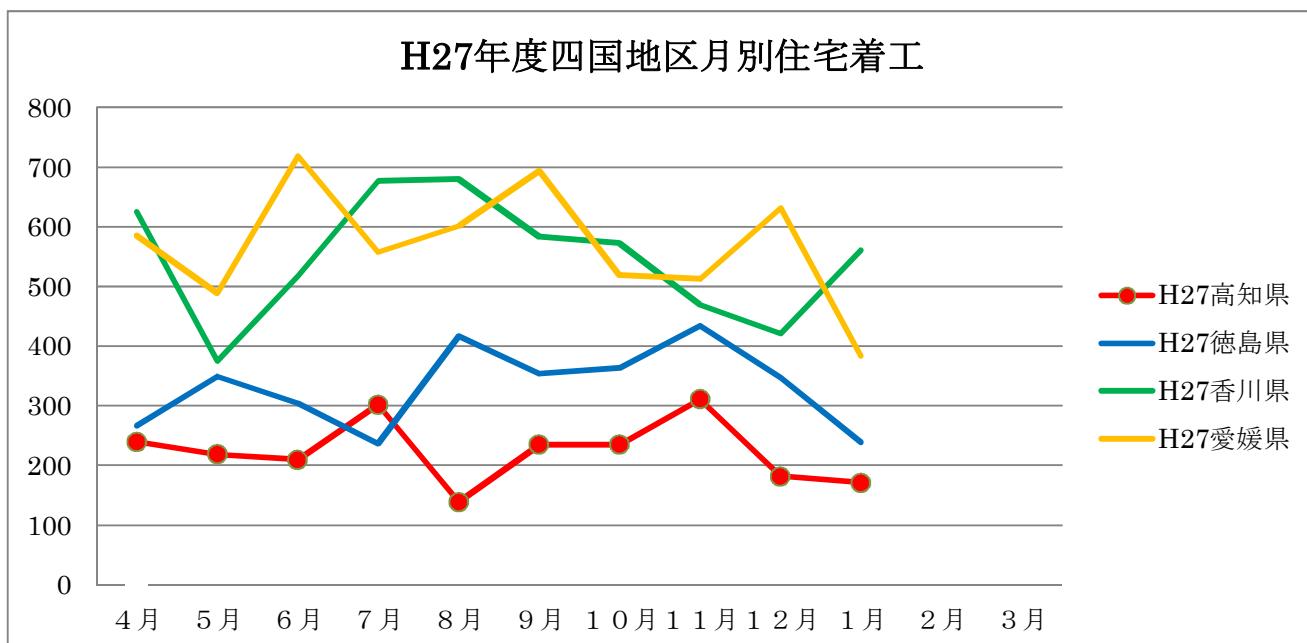
資料(2) 高知県の月別新設住宅着工数(平成 24~28 年 1 月まで)



高知県の平成 28 年 1 月の住宅着工数は、前年度比 10.9% 減の 171 戸だった。持ち家は、1 月は同 0.9% 減の 110 戸と少し減少した。貸家は前年同月比 30.8% 減の 45 戸と大幅に減少した。

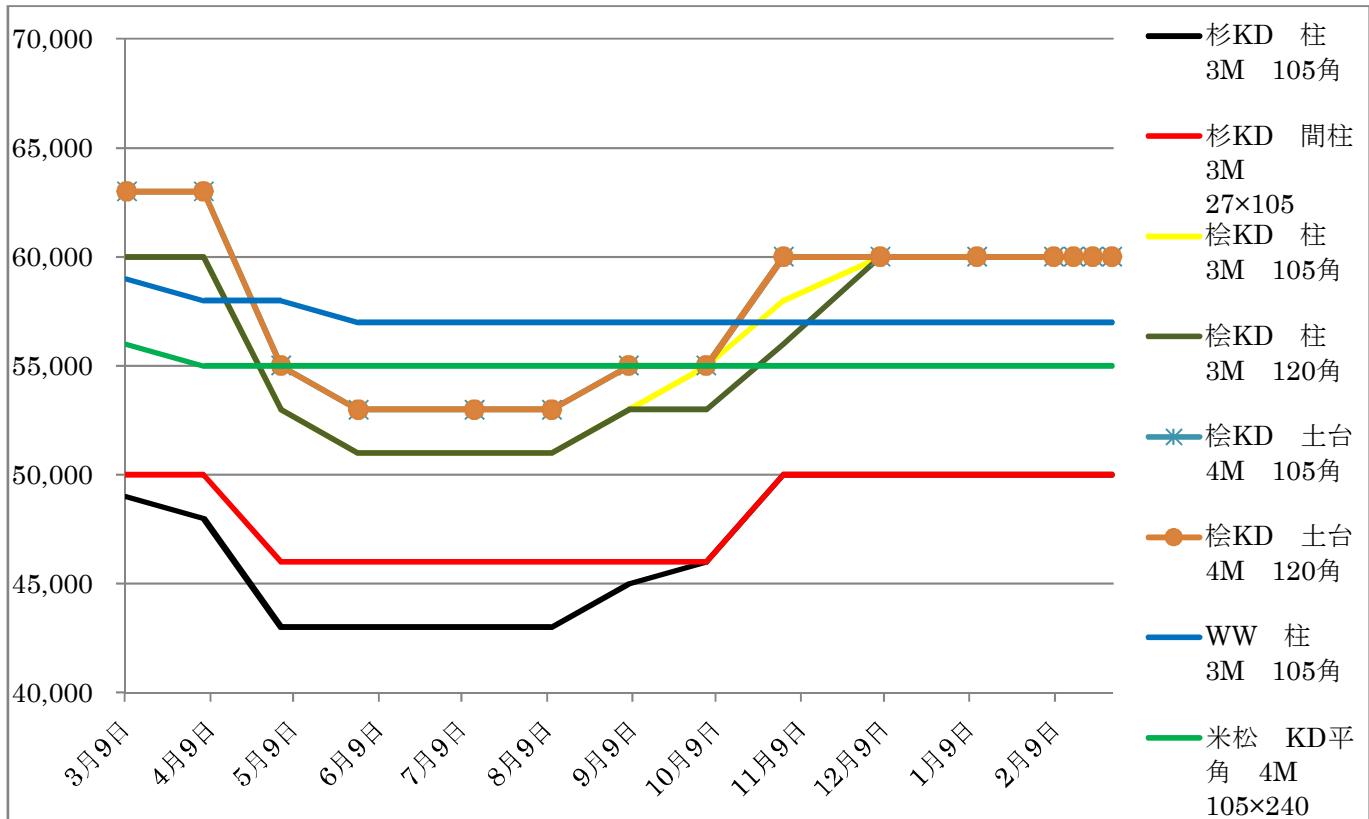
今回、分譲の 1 月は同 6.7% 増の 16 戸で、内訳はすべて分譲住宅だった。平成 27 年の高知県の新設住宅着工数は、前年比 1.0% 増の 2,734 戸で内訳は持ち家が前年比 2.9% 減の 1,477 戸、貸家が 15.2% 増の 873 戸、給与住宅が同 68% 減の 8 戸、分譲マンションが同 15.4% 減の 115 戸、分譲住宅が同 1.1% 減の 261 戸だった。高知県でも相続税改正の対策として貸家や貸家併用住宅が活発に建設されて、全体を押し上げた。

資料(3) 四国の月別新設住宅着工数(平成 27 年度 1 月まで)



木材価格情報

資料(4) 製品市況 関東市売り場(27年3月～28年2月29日まで)



(備考: 桧KD土台 4M 105角 と 桧KD土台 4M 120角 は同価格の為、グラフが重なって見えます。)

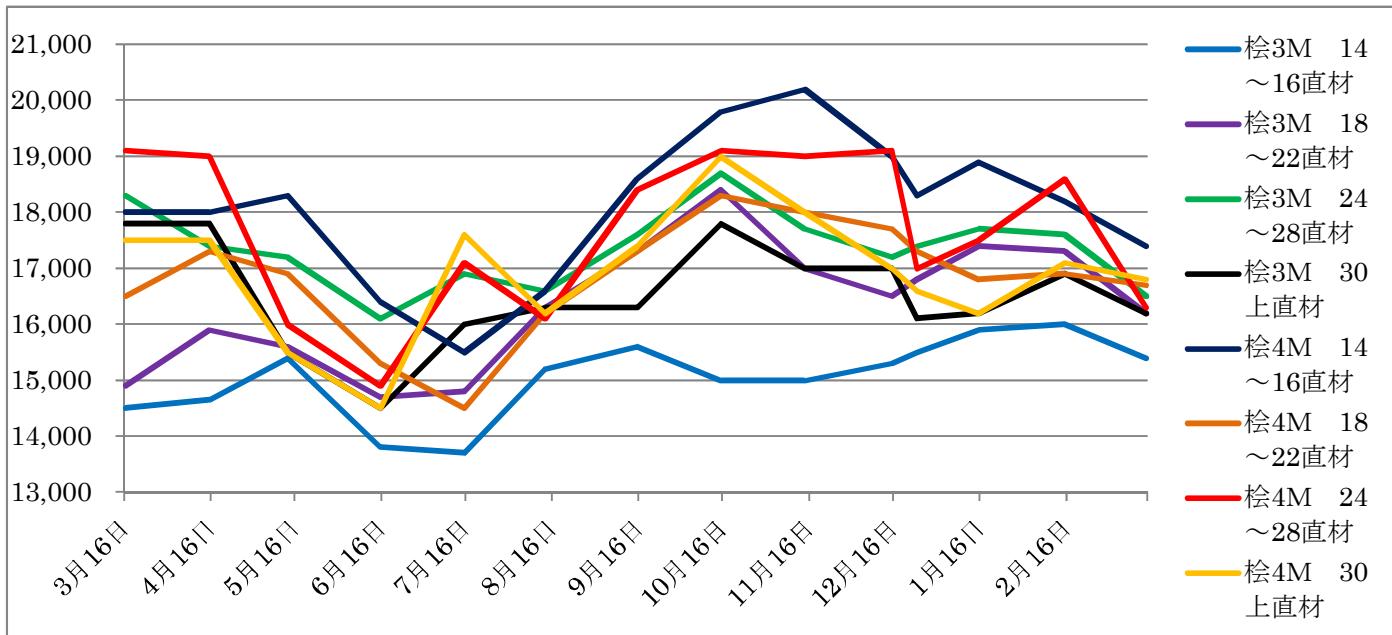
平成28年3月の国産材製品市況は、年明けより端境期に入ったためプレカット工場の稼働も落ち、需要が減少しており、一方で、市場問屋の商いも低迷している。

構造材は桧KD土台角、杉KD柱角とも荷動きは低調で、羽柄材は杉KD間柱を中心に横ばい。造作材も引き合いが少なく、弱保合で推移している。



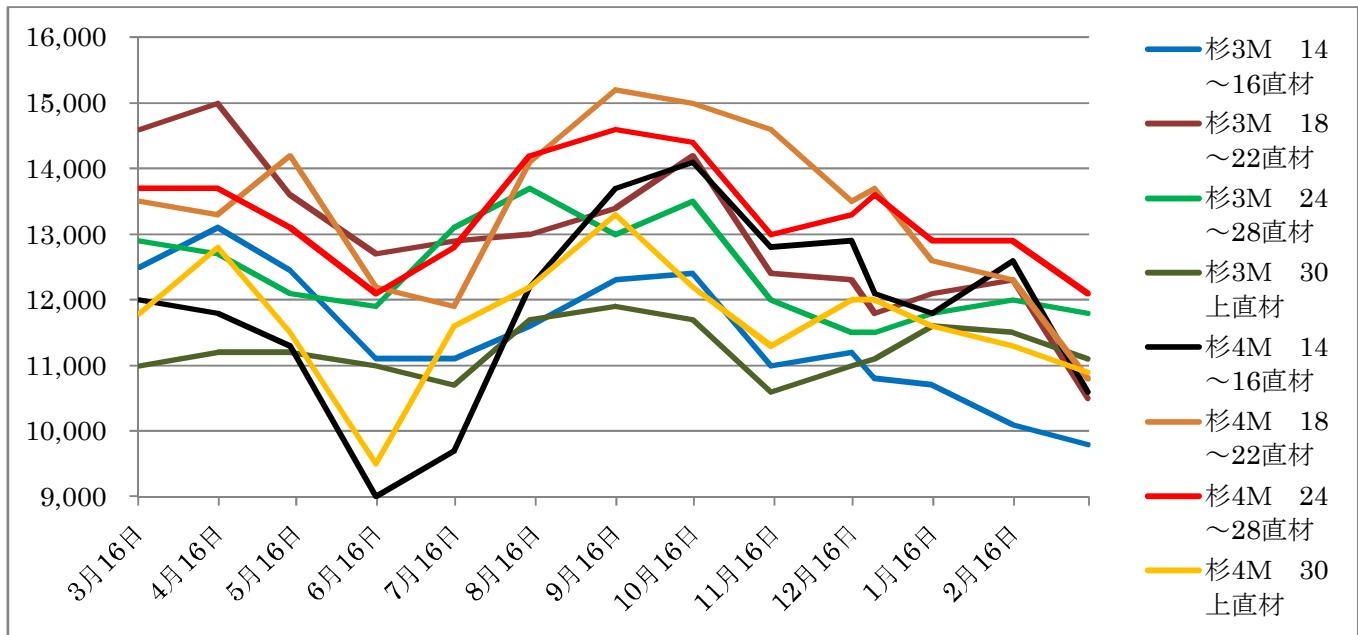
写真は県内合同市 2/23

資料(5) 平成 27 年丸太市況 桧 3~4M (久万広域森林組合分) 平成 28 年 3 月 15 日まで



平成 28 年 3 月の桧丸太価格は、出材も減少傾向だが、建築用製品需要が低調なことにより、製材用材を中心に全体的に弱保合で推移している。低質材は合板・チップ・バイオマス等が下支えしており他産地に比べて居所高で推移している。4 月より池川木材工業(有)の新工場が稼働し、また、愛媛に桧の大型集成材工場の建設が決定しており、小径木やラミナ用の丸太の確保が今後は懸念される。3M 柱口は弱保合、柱よりも動きの良い土台取り 4M 材も弱保合、小丸太は若干強めで推移している。

資料(6) 平成 27 年丸太市況 杉 3~4M (久万広域森林組合分) 平成 28 年 3 月 15 日まで



平成 28 年 3 月の杉丸太価格は、出材も減少傾向だが、建築用製品需要が低調なことにより、製材用材を中心に全体的に弱保合で推移している。低質材は合板・梱包・チップ・バイオマス等が下支えしており他産地に比べて居所高で活発に推移している。3M 柱用材は弱保合、4M 中目材も弱保合。小径木・低質材は保合。

3月の商況

平成28年3月の商況は、プレカットの受注状況が年明けから端境期に入り減少し、構造材を中心に製品の需要も減少したため、相場は弱保合で推移している。特に柱材は大手メーカーの杉集成管柱が採用され始めており、Wウッド集成管柱のシェアは横ばいのため、国産無垢材のシェアが減少してきており、柱材主体の大手製材メーカーは軒並み苦戦を強いられている。それらの影響により、丸太相場も製材用材を中心に相場を下げてきている。

平成29年度は消費増税が行われる予定だが、平成28年5月連休明け位より需要が出始める見込みで、しばらくはこのまま低位推移する模様だ。

(1) 丸太相場



国産材丸太相場は国有林の端境期にはいり、3月に入り全体的に出材は減少しているが、製材用丸太の引き合いは活発ではなく、合板工場の丸太在庫も多く、輸出用丸太も弱含みとなり、チップ用丸太だけがバイオマスとの競合で強気で推移している。

本来なら伐り旬が良く在庫の利く丸太だけに、仕入れ意欲は高まっていい時期だが、市況には反映されていない。要因は製品需要の低迷にあり、プレカット向けはまだしも、製品市場など一般流通の動きが鈍く杉・桧とも相場は弱く推移している。5月の連休明けまでは弱含みで推移する見通しだ。

久万広域森林組合 3月15日相場表

		杉		桧	
長さ	末口計	直	曲	直	曲
3.00	8~11	218	218	260	260
	12	11,300			
	13	6,800	6,800	11,300	
	14	8,800	7,200	13,600	12,100
	16	10,800	9,300	17,200	15,300
	18~22	10,500	8,900	16,200	14,500
	24上	11,800	10,100	16,500	14,500
	30上	11,100	9,300	16,200	13,500
4.00	8~11	363	363	395	395
	12	12,600			
	13	11,000	10,100	12,600	
	14~16	10,600	8,500	17,400	15,600
	18~22	10,800	9,800	16,700	15,900
	24上	12,100	9,900	16,300	15,900
	30上	10,900	10,200	16,800	15,100
6.00	18上	11,000	10,000	25,300	23,000

(注) 3桁は本売り 単位m³

(2) 国産材製品相場

国産材製品は、3月も全国的に荷動きは鈍く、相場も停滞している。需要サイドでは仕事が年明けから減少しており、プレカット会社の受注は例年どおり端境期に入り全体的に減少しており、材木店や問屋の荷動きも鈍く、製品市場もまとまった仕入は少なく、当用買い主体の状況だ。4月以降は降雪地域が雪解けを迎える動き出ことや、消費増税前の駆け込み需要が期待できるが、関東以西では5月の連休明けまでは停滞感が残るとの見方が多く、しばらくは様子見の状況だ。役物や羽柄材も同様の動きで、構造材は大手メーカーの杉集成管柱がシェアを取り始めており、国産無垢の管柱の苦戦が続いている。



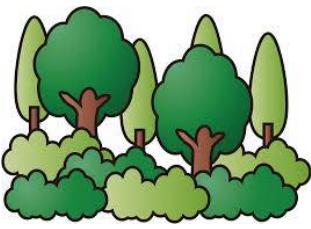
首都圏市場の木材標準相場表 単位m³					
品目	樹種	寸法	等級	2月	3月
柱角	杉(KD)	3M 105mm 角	特等	50,000	50,000
間柱	杉(KD)	3M 30×105mm	特等	50,000	50,000
柱角	桧(KD)	3M 105mm 角	特等	60,000	60,000
柱角	桧(KD)	3M 120mm 角	特等	60,000	60,000
土台角	桧(KD)	4M 105mm 角	特等	60,000	60,000
土台角	桧(KD)	4M 120mm 角	特等	60,000	60,000

(3) 米材

米国産米松の大手製材向け3月積の日本向け輸出価格は前月比据え置きとなり、1月から3ヶ月連続で同値推移となった。為替は年明けから月を追うごとに円相場が上昇し、先行きの輸入コストも徐々に低下する見通しだ。カナダ産米松丸太の日本向け価格も保合が続いている。不需要期とはいえ3月の荷動きは例年より悪いという声が多く、決算期も重なりプレカット工場も必要分のみを手当する委縮相場となっているが、輸入製品の入荷が少なめなど米松国内挽き製品相場は全般に横ばい推移している。羽柄、下地材等はホームセンター向け2M材が好調だ。

首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き) 単位m³					
	樹種	寸法	等級	2月	3月
平角	米松 KD	4M 105×270mm	特等	56,000	56,000
平角	米松グリン	4M 105×270mm	特等	44,000	44,000
角材	米松 KD	4M 105mm 角	特等	58,000	57,000
タルキ	米松 KD	4M 45×45mm	特等	58,000	58,000
タルキ	米松グリン	4M 45×105mm	特等	45,000	45,000
注入土台角	米ツガ	4M 105mm角	特等	56,000	56,000
注入土台角	米ビバFOHC	4M 105mm角	特等	73,000	73,000
首都圏市場の木材標準相場表(輸入品) 単位m³					
角材	米松 KD	4M 105mm 角	特等	53,000	53,000
角材	米松 KD	4M 90mm 角	特等	52,000	52,000
タルキ	米松 KD	3M 45×90mm	特等	53,000	53,000
タルキ	米松 KD	4M 45×60mm	特等	54,000	54,000

(4) 欧州材・ロシア材



3月の欧州材は、繁忙期がすぎ、荷動きには停滞感が出てきた。

だが、構造用集成材とWウッド羽柄材の需要は均衡し、荷余り感はない。

構造用集成材は、Wウッド集成管柱の3月以降積みの新規契約で、産地価格は上がったが、円安が入荷コスト高を相殺し、1,830円前後の見通し。国産は集成材メーカーの受注残があり、保合。集成平角は競合する米松KD平角に先安感があり弱保合。Wウッド羽柄材は保合で推移している。

ロシア材も良材を中心にタイト感があるが、価格は横ばいで推移している。

首都圏市場の木材標準相場表			単位m ³		
	樹種	寸法	等級	2月	3月
集成平角(国産)	Rウッド	4M 105×240mm	特等	57,000	57,000
集成管柱(国産)	Wウッド	3M 105mm 角	特等	1,830	1,830
間柱(欧州産)	Wウッド(KD)	3M 27×105mm	特等	51,000	51,000
集成平角(欧州産)	Rウッド	4M 105×240mm	特等	57,000	57,000
集成管柱(欧州産)	Wウッド	3M 105mm 角	特等	56,000	56,000
ラミナ	Wウッド	乱尺		35,000	35,000
ラミナ	Rウッド	乱尺		36,000	36,000
ロシアタルキ	アカ松 KD	3.8M 35×35mm	特等	63,000	62,000
ロシア胴縁	アカ松 KD	3.8M 16×40mm	特等	70,000	70,000

(5) NZ・チリ材

NZ・チリ材製品の荷動きは年末にやや動きがあったものの、年明け以降不振を引きずっており、資材消化のピッチが上がらない。3月の製材品の荷動きは全般に低調で、国内物流向けパレット材の引き合いが出るもの、国産材(杉・桧)にシェアを取られており、ラジアタ松製品の荷動きは低調で特に輸出梱包関連の不振が続いている。また、昨年12月積の原木価格が値上がりしたため、製材コストが上昇していたが、最近の急激な円高推移に値上げムードはトーンダウンしている。4月以降も当面は精彩を欠く荷動きが続きそうだ。

梱包関連標準相場表			単位m ³		
	樹種	寸法	等級	2月	3月
割板	ラジアタ松	4M 15×240mm	特等	41,000	41,000
割角	ラジアタ松	4M 27×85mm	特等	39,000	39,000



(6) 針葉樹合板

国産針葉樹合板は市場環境が落ち着きはしたものの、需給は均衡を保っている。プレカット工場を中心とした需要状況は2月以降一服したが、合板メーカーの在庫水準は極めて低く、合板メーカーは年明け以降も高水準での生産が続いている。価格は横ばいで推移している。

首都圏針葉樹構造用合板関連相場表			単位 枚	
	樹種	寸法	2月	3月
針葉樹構造用合板	JAS	12mm 910×1820mm	910	910
針葉樹構造用合板	JAS	15mm 910×1820mm	1,200	1,200
針葉樹構造用合板	JAS	24mm 910×1820mm	1,720	1,720
針葉樹構造用合板	JAS	28mm 910×1820mm	2,020	2,020

(7) プレカット

全国の3月のプレカット会社の受注状況は、大手ビルダーや集合住宅の仕事が再び出始めたことで、受注ベースは緩やかながら回復傾向にあり、3月の全国受注平均は91.1%となった。

一般工務店などのルートからの仕事が伸び悩む一方で、大手住宅メーカーが4月以降の仕事に向か、少しずつ動き始めている様相だ。

今後は大手住宅会社先行で仕事は回復基調だが、一般工務店の仕事が低迷するなかで、各プレカット工場の大手ビルダーへの依存度が今後高まっていくことが予想される。4月からの受注回復に向けて動きが始めているが、どこまで仕事が出てくるかは依然不透明感が残り、非住宅物件がどこまで出てくるかもいまだ不確定要素が多いため、各社とも堅実な受注確保にうごいている。

2月のプレカット稼働調査（全国平均表）

単位：% () 内は前年比

	1月(実績)	前年比	2月(受注)	前年比	3月(見込)	前年比
北海道	73.3	99.0	72.3	109.7	95.0	100.0
東北	68.0	85.0	70.0	117.0	68.0	125.0
関東	85.3	100.9	96.2	126.8	97.5	99.5
中部	77.7	98.0	79.3	100.7	80.0	105.7
関西	100.0	101.7	88.3	95.0	90.0	105.0
中国	87.5	122.0	77.5	107.5	90.0	100.0
四国	98.5	103.5	103.0	108.5	91.0	101.0
九州	104.5	111.5	96.5	95.5	—	—
全国平均	86.8	102.7	85.4	107.6	87.4	105.2



日刊木材新聞・木材建材ウーリー他参照

【トピックス】 平成 27 年の建築市場分析

平成 27 年の住宅着工は 90 万 9,299 戸と（前年比 1.9% 増）となった。平成 26 年 4 月 1 日からの消費税 8% への引き上げ時に起きた駆け込み需要の反動減が年中まで続いたが、後半にかけて回復傾向となり、全体では 1.9% 増と僅かに増加した。平成 27 年も消費税増税の反動減の影響が残り、持ち家を中心に厳しい市況が続いた。この中で、貸家は 27 年 1 月からの相続税の課税強化に対して貸家経営が税制上有利になることから、これまでの土地オーナー層とは異なる都市部の一般家庭でも相続税対策としての貸家や賃貸併用住宅の建設などが活発化した。新設住宅着工は、少子高齢化、非正規雇用の増加、住宅ストックの増加など構造的に減少に向かい 2030 年には 60 万戸割れを予測している。こうした構造問題とは別に消費増税の引き上げという要因が加わり、駆け込みや反動減での増減を予測している。

利用関係別では、持ち家が 28 万 3,366 戸（前年比 0.7% 減）と低調で、これを貸家が 37 万 8,718 戸（同 4.6% 増）とカバーした。マンションは 11 万 5,652 戸と高水準だったものの、横浜のマンション傾斜問題で昨年 10 月以降は購入者の購買意欲が冷え込んだ。戸建て分譲住宅は 12 万 3,624 戸（同 1.4% 減）と在庫水準が高く、新規着工は抑制気味だった。

持ち家は大手住宅会社が環境性能や賃貸併用の都市型住宅など 1 棟当たりの単価を引き上げていくのに対し、ビルダー層は低価格戦略をとり、建築価格を 1,000 万以下の価格設定で集約し、広域で販売した。若年層の年収の伸び悩み、非正規雇用の増加など一次取得層にアベノミクスの恩恵は届かず、価格志向を強める結果となった。

戸建て分譲住宅は、首都圏を中心には在庫調整に時間を要した。郊外でも駅近物件などは売れ行きが良かったが、都心部への交通の便の悪い所は低価格でも売りづらかった。活発なのは都心部で、オープンハウスなどの都心部の分譲に強い住宅会社が業績を伸ばした。

マンションは東京五輪に向けて施工費が高騰し、販売価格も値上がり傾向にある。そのため郊外ではマンション供給が減少し、一部では戸建て分譲へ流れたり、中古住宅をリノベーションして購入したりするケースも増加している。また、今後は杭打ち不足による傾斜問題等による購買意欲の減少が懸念される。

中古住宅、リノベーションなどの市場は新築市場からストック市場へ移行するなかで今後期待される市場だ。ただ、そのためには中古住宅瑕疵保険などの消費者が安心して購入できる仕組み作りが求められる。

平成 27 年の工法別住宅着工数では、木造が 50 万 4,318 戸（前年比 0.3% 増）、非木造が 40 万 4,981 戸（同 0.5% 増）と木造住宅が着工数を僅かに伸ばし、非木造に 10 万戸の差をつけた。例年ならば、住宅動向によって差はあるものの、木造と非木造の差が 8 万戸台であることをふまえば木造にシフトしていることがうかがえる。これは鉄骨造で住宅を供給してきたトヨタホームやパナホームが木造住宅の供給を本格的に開始したことや、職人の確保のし易さ・建築金物を活用して耐震性が高く強固な躯体ができるようになった・在来工法や 2×4 工法でも耐火工法が確立され始めたことなどが挙げられる。

鉄骨造を中心のプレハブ住宅数は、昨年の減少から増加に転じ 14 万 3,549 戸（前年比 2.2% 増）となった。同工法の分野別では、持ち家 4 万 5,705 戸（同 4.8% 減）、貸家 9 万 1,107 戸（同 6.5% 増）と大和ハウス工業や積水ハウスなど大手住宅メーカーが得意とする持ち家の分野が減少し、貸家で着工数を維持している。

◆2015年構造別住宅着工数

構造別	戸数	前年比	床面積	前年比
木造計	504,318	103.0	48,276	100.4
非 木 造	SRC造	4,453	96.7	323
	R C 造	234,013	97.7	14,672
	鉄骨造	164,864	95.1	11,634
	コンクリブロック	765	94.0	69
	その他	886	125.3	83
合計	909,299	101.9	75,057	99.2



木造住宅の着工数は、在来工法の着工数が37万5,357戸（前年比3.4%増）、2×4工法が11万4,617戸（同2.8%増）と両分野で増加。在来工法では上記で示した職人の確保や耐震性・耐火性の強化などにより着工数が増加し、特に東北地方が顕著で復興需要もあって前年比8%増となっている。

2×4工法の増加については、好調だった貸家に依存する部分が大きく、貸家の着工数が6万1,960戸（前年比4.7%増）だったのに対し、持ち家は3万1,960戸（同0.5%増）、分譲は1万3,388戸（同1.4%減）となっており、貸家が同工法の半数以上を占めている。これは、大手の大東建託や東建コーポレーションなどが相続税改正により、賃貸需要そのものに加えて、マンションと同様に投資目的で賃貸建設を行う動きが追い風となっている。また、同工法においては杉材を活用するなどの国産材対応とともに、断熱性能、耐震性を向上させる2×6工法へ移管する動きが活発化している。

木質プレハブ工法は、1万4,344戸と（前年比4.2%減）と振るわない状況が続いている。これは最大手のミサワホームの動向が影響している。ただ、プレハブ工法は木造在来工法に比べて住宅の断熱性能が高く、住宅の性能が上がっていることで、競合する木造軸組メーカーなどでより高いレベルの勝負を強いられるようになっている。

◆2015年木造・2×4・在来・プレハブ着工数

	木造合計		在来木造住宅		2×4住宅		プレハブ住宅	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比
全国	504,318	103.0	375,357	103.4	114,617	102.8	14,344	95.8
高知県	1,912	106.8	1,557	100.6	325	152.6	30	96.8

住宅市場の落ち込みをカバーする市場として非住宅木造建築、中・大規模木造建築物などの市場が注目されているが、着工面積は伸び悩んだ。一部では価格競争になってきており、鉄骨造の市場を切り崩していくかないと住宅市場の落ち込みをカバーするようにはならない。

平成27年の非住宅建築物は、58万7,154棟（前年比0.9%減）とわずかながら減少した。そのうち非住宅木造建築物は2万7,499棟（前年比2.0%減）と全体の着工が減少するなかで非住宅木造建築も伸び悩んだ。利用関係別では事務所が3,595棟（同2.8%増）、店舗2,206棟（同4.7%減）、工場・作業場が973棟（同0.6増）、倉庫3,004棟（同0.2%減）、学校307棟（同4.4%減）、病院・診療所（同4.4%減）とあまり大きな変化は見られなかった。

平均工事予定額は構造別で木造がm²165,400円（前年比1.5%増）、鉄骨造197,300円（同12.1%増）、鉄筋コンクリート造240,000円（同5.4%増）、鉄骨鉄造コンクリート造326,600円（同18.3%）と各工法とも値上がりしている。建物の規模や用途を考慮せず価格だけで比較したものだが、木造の優位性が出てきそうだ。直接競合するのは、鉄骨造による低層建築物の市場で、木造耐火構造の普及や、トラスを使った大スパン建築物などで店舗や工場用での木質化を進めていく模様だ。

◆非住宅木造建築物の着工推移

単位:棟数

	全建築物	非住宅木 造建築	事務所	店舗	工場・作 業所	倉庫	学校	病院・診 療所
2013	676,332	23,498	3,198	2,398	1,026	3,292	294	1,039
2014	592,573	28,073	3,496	2,316	931	3,010	321	954
2015	587,154	27,499	3,595	2,206	973	3,004	307	929

◆高知県の非住宅建築物の着工

	全建築物	非住宅木 造建築	事務所	店舗	工場・作 業所	倉庫	学校	病院・診 療所
2015	2,651	196	19	22	16	33	4	7



写真は本山保育園

資料(7) 平成 27 年 年間新設住宅戸数

平成 27 年 年間新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

	総数				持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年比	戸数	対前年比	戸数	対前年比	戸数	対前年比	戸数	対前年比	戸数	対前年比	戸数	対前年比	戸数	対前年比
北海道	33,776	104.3%	10,838	102.8%	18,975	105.2%	313	157.3%	3,650	101.6%	1,898	107.3%	1,752	98.4%		
青森	5,686	104.0%	3,336	98.5%	1,820	105.8%	19	271.4%	511	144.4%	35	-	459	131.5%		
岩手	8,628	94.7%	4,425	98.3%	3,634	98.2%	28	21.4%	541	69.6%	176	45.6%	365	93.4%		
宮城	23,719	91.1%	7,729	99.6%	11,708	85.6%	175	56.6%	4,107	95.6%	1,326	85.5%	2,738	100.9%		
秋田	3,853	102.0%	2,501	101.1%	1,016	105.0%	19	135.7%	317	99.1%	0	-	317	99.1%		
山形	5,403	118.7%	3,076	121.6%	1,721	114.7%	15	18.1%	591	135.2%	52	-	539	123.3%		
福島	15,568	102.7%	7,241	96.2%	6,744	106.2%	86	92.5%	1,497	125.5%	220	74.6%	1,275	142.0%		
茨城	22,310	99.7%	9,379	93.9%	9,191	106.8%	143	158.9%	3,597	97.5%	862	70.6%	2,735	110.7%		
栃木	13,120	96.6%	6,214	95.5%	4,716	102.2%	57	72.2%	2,133	89.5%	83	28.1%	2,050	98.4%		
群馬	13,174	108.2%	6,682	100.6%	4,449	128.7%	45	97.8%	1,998	98.6%	83	118.6%	1,911	97.6%		
埼玉	57,357	101.5%	16,280	98.9%	22,702	108.8%	274	153.9%	18,101	95.3%	4,368	80.4%	13,633	101.6%		
千葉	45,784	96.5%	12,307	95.4%	18,152	108.8%	247	320.8%	15,078	84.9%	5,093	71.3%	9,858	93.5%		
東京	141,978	99.7%	16,651	93.4%	64,500	104.8%	848	33.1%	59,979	99.2%	41,046	103.5%	18,377	90.2%		
神奈川	73,271	112.5%	15,222	104.3%	29,641	113.5%	179	24.8%	28,229	118.9%	12,573	144.1%	14,950	103.1%		
新潟	11,554	100.8%	6,345	98.8%	4,123	99.9%	114	152.0%	972	116.8%	267	109.4%	682	116.4%		
富山	5,828	105.6%	3,212	98.0%	2,090	119.6%	62	98.4%	464	108.7%	119	93.0%	341	114.0%		
石川	7,286	112.9%	3,819	114.6%	2,539	114.6%	19	126.7%	909	101.8%	198	66.2%	705	118.7%		
福井	3,911	111.9%	2,330	105.3%	1,202	127.9%	5	26.3%	374	115.8%	68	234.5%	306	104.1%		
山梨	4,608	105.7%	3,010	114.9%	1,158	94.3%	8	5.0%	432	122.7%	168	305.5%	264	88.9%		
長野	10,609	96.3%	6,660	98.4%	2,601	86.6%	122	52.6%	1,226	120.8%	245	160.1%	970	112.5%		
岐阜	10,436	101.5%	6,057	101.3%	2,516	107.0%	37	154.2%	1,826	94.6%	75	23.6%	1,751	108.6%		
静岡	24,052	98.2%	12,508	100.1%	7,408	88.5%	123	58.0%	4,013	117.5%	1,302	168.2%	2,711	102.7%		
愛知	58,720	105.1%	19,031	95.6%	23,668	117.0%	664	161.6%	15,357	100.1%	5,753	109.9%	9,600	95.2%		
三重	10,059	102.0%	5,299	96.9%	3,308	110.9%	37	168.2%	1,415	102.1%	381	202.7%	1,028	85.8%		
滋賀	8,208	97.4%	4,164	98.7%	2,766	109.3%	82	256.3%	1,196	72.6%	80	19.5%	1,116	90.7%		
京都	17,644	100.3%	4,683	103.9%	6,594	89.6%	107	118.9%	6,260	111.0%	3,307	129.5%	2,931	95.3%		
大阪	64,204	99.5%	9,989	100.3%	28,608	98.3%	443	158.2%	25,164	99.9%	14,622	101.5%	10,422	97.2%		
兵庫	32,696	95.3%	9,950	99.5%	11,324	91.3%	293	66.4%	11,129	96.9%	5,750	102.3%	5,295	90.3%		
奈良	6,517	111.5%	2,692	105.5%	1,717	92.7%	22	-	2,086	144.6%	659	823.8%	1,417	104.1%		
和歌山	4,909	97.9%	2,585	95.2%	1,696	109.7%	153	3060.0%	475	63.5%	0	0.0%	469	95.3%		
鳥取	2,549	103.9%	1,289	103.6%	1,039	102.3%	8	133.3%	213	113.3%	112	100.0%	101	132.9%		
島根	3,088	102.8%	1,435	92.8%	1,236	97.0%	22	366.7%	395	224.4%	299	506.8%	92	78.6%		
岡山	12,392	113.1%	5,342	103.3%	5,205	115.0%	61	190.6%	1,784	145.3%	1,009	267.6%	773	91.7%		
広島	16,289	99.0%	5,362	99.0%	6,699	115.2%	49	35.3%	4,179	82.2%	1,538	58.1%	2,637	108.3%		
山口	7,596	98.5%	3,236	96.6%	3,233	93.7%	37	56.1%	1,090	129.0%	638	139.6%	444	114.4%		
徳島	3,802	94.5%	2,059	99.9%	1,430	87.6%	7	25.0%	306	102.0%	117	74.5%	187	138.5%		
香川	6,412	108.7%	2,841	94.3%	2,504	110.4%	72	288.0%	995	167.8%	591	195.0%	398	144.2%		
愛媛	6,817	98.3%	3,528	98.9%	2,301	88.7%	26	650.0%	962	125.1%	504	169.7%	458	97.9%		
高知	2,734	101.0%	1,477	97.1%	873	115.2%	8	32.0%	376	93.5%	115	84.6%	261	98.9%		
福岡	40,415	109.1%	9,673	102.1%	20,961	108.9%	191	285.1%	9,590	116.3%	6,106	133.1%	3,450	96.6%		
佐賀	4,941	102.3%	2,059	96.8%	2,500	126.3%	18	85.7%	364	51.7%	52	12.7%	312	105.8%		
長崎	6,262	99.7%	2,856	98.9%	2,844	114.8%	32	45.1%	530	62.5%	257	44.2%	273	102.2%		
熊本	10,723	95.2%	4,540	100.8%	4,296	87.2%	312	800.0%	1,575	87.7%	601	69.9%	970	103.6%		
大分	7,254	117.7%	2,804	103.2%	3,146	117.5%	129	379.4%	1,175	159.6%	677	237.5%	498	110.4%		
宮崎	6,443	100.0%	3,092	100.1%	2,516	100.1%	34	121.4%	801	99.1%	238	79.6%	563	110.6%		
鹿児島	10,578	106.0%	4,388	100.8%	4,922	114.9%	106	126.2%	1,162	92.3%	304	57.0%	850	121.1%		
沖縄	16,136	104.6%	3,170	100.7%	10,726	98.3%	163	652.0%	2,077	155.1%	1,685	152.9%	390	171.1%		
合計	909,299	101.9%	283,366	99.3%	378,718	104.6%	6,014	81.6%	241,201	101.6%	115,652	104.7%	123,624	98.6%		
北海道	33,776	104.3%	10,838	102.8%	18,975	105.2%	313	157.3%	3,650	101.6%	1,898	107.3%	1,752	98.4%		
東北	62,857	98.0%	28,308	100.5%	26,643	95.4%	342	53.7%	7,564	102.5%	1,809	81.1%	5,693	111.4%		
関東	382,211	101.9%	92,405	98.0%	157,110	107.5%	1,923	46.4%	130,773	100.2%	64,521	102.8%	64,748	97.3%		
北陸	28,579	106.1%	15,706	103.0%	9,954	110.2%	200	116.3%	2,719	109.9%	652	93.1%	2,034	114.7%		
中部	103,267	102.7%	42,895	97.8%	36,900	108.7%	861	128.7%	22,611	102.5%	7,511	115.3%	15,090	97.2%		
近畿	134,178	98.8%	34,063	100.3%	52,705	96.2%	1,100	129.7%	46,310	100.4%	24,418	104.7%	21,650	95.2%		
中国	41,914	103.3%	16,664	99.6%	17,412	108.2%	177	71.1%	7,661	101.9%	3,596	98.5%	4,047	104.8%		
四国	19,765	101.0%	9,905	97.5%	7,108	98.0%	113	137.8%	2,639	127.9%	1,327	148.6%	1,304	114.1%		
九州	86,616	105.6%	29,412	100.9%	41,185	108.1%	822	239.0%	15,197	105.6%	8,235	109.0%	6,916	102.7%		
沖縄	16,136	104.6%	3,170	100.7%	10,726	98.3%	163	652.0%	2,077	155.1%	1,685	152.9%	390	171.1%		
首都圏	318,390	102.2%	60,460	97.9%	134,995	107.8%	1,548	43.7%	121,387	100.3%	63,080	103.5%	56,818	96.6%		
中部圏	103,267	102.7%	42,895	97.8%	36,900	108.7%	861	128.7%	22,611	102.5%	7,511	115.3%	15,090	97.2%		
近畿圏	134,178	98.8%	34,063	100.3%	52,705	96.2%	1,100	129.7%	46,310	100.4%	24,418	104.7%	21,650	95.2%		
その他地域	353,464	102.6%	145,948	100.2%	154,118	104.0%	2,505	108.3%	50,893	105.5%	20,643	104.8%	30,066	106.3%		

政府統計資料による

高周波木材水分計 HS-100

内部水分を押し当てるだけで簡単に測定できます。
高精度型で信頼性も抜群です。

高精度型



マイクロメジャー株式会社

主な機能

タッチ式

木材に軽く押しあてるだけで測定できます。

内側水分まで測定

40mmまでの内部水分を測定可能です。



厚み、密度、温度補正機能

厚み、密度に合わせて補正します。温度計を内蔵し自動で温度補正します。
(手動設定可)

上限水分(アラーム)機能

設定された上限水分値を超えるとブザー、赤色LEDが点滅します。



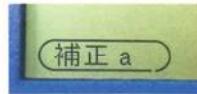
住木センター認定機種

HS-100は公益財団法人 日本住宅・木材技術センター「針葉樹製材に用いる含水率計の性能認定」において優良含水率計として認められました。(認定番号 1-15-001)



全乾で補正可能

サンプル材を実際に全乾して、HS-100の値をぴたりと合わせる機能があります。(全乾試験は別途料金) a(倍率)、b(加算) の項目が設定可能です。(a,b を変更すると認定の適用除外となります。)



仕様

型 式	HS-100
方 式	水分測定 高周波容量式(20MHz)
測定対象	測定可能対象物 木材
	密度(g/cm³) 0.10~1.00
	厚み、幅、長さ(mm) 10~40, 60以上, 80以上
測定範囲	測定回数(回/秒) 0.8
	測定範囲(mm) 縦46×横50 ※1
	水分値測定域(%) 3~100(設定や密度により制限有り)
表示・出力	表示方式、分解能 液晶デジタル表示、0.1%
	厚み設定(mm) 10~40
	密度設定(g/cm³) 0.10~1.00
	温度設定(°C) 手動設定0~70(2°C刻み) または内部温度計0~45
	アラーム機能 ブザー、赤色LED
	その他の機能 オートパワーOFF(10分)
	補正機能 倍率、切片 倍率は標準で1.0倍 切片は標準で0%
使用環境 (保存環境)	温度(°C) 3~45(寒冷地では要加温) 湿度(%) 10~85(結露なきこと)
電 源	006P乾電池 1本
寸 法	幅61×奥行115×高さ98mm
質 量	約235g(電池を含まず)
製 造 国	日本
付 属	取扱説明書(樹種表付き)、巾着袋、 006P 9V電池1個以上

※1…横が木材の繊維方向です。

マイクロメジャー製 高周波木材水分計 HS-100
木材協会にて特別価格で販売できます。

木材協会販売価格

本体 55,000 円

消費税 4,400 円

税込 59,400 円

お申込み・お問い合わせは

一般社団法人高知県木材協会まで

TEL : 088-883-6721

行事予定

- 4月 7日 (木) 森林協会主催県職員関係歓送迎会
25日 (月) CLT建築業協会総会
26日 (火) 高知県林業活性化推進協議会総会
27日 (水) (公社)森と緑の会理事会
28日 (木) 高知県木材普及推進協会総会
5月 11日 (水) (一社)全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会総会
12日 (木) 全国木材産業政治連盟、(一社)全国木材検査・研究協会総会
13日 (金) (一社)高知県木材協会役員会
24日 (火) (公社)森と緑の会総会
30日 (月) (一社)高知県木材協会総会
〃 高知県木材産業協同組合連合会総会
〃 高知県木材産業政治連盟総会

次世代へつなぐウッドファースト社会を目指して



一般社団法人高知県木材協会
〒780-0801 高知市小倉町2番8号
TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697
<http://www.k-kenmoku.com>